

登山月報



JMSCA

登山月報 第633号 令和3年12月15日発行
昭和45年12月12日第三種郵便物認可（毎月一回15日発行）



スキルブルム(7,360m/コルの右)

8月11日 みんなで山を考えよう!
祝「山の日」
全国「山の日」協議会
山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する

No.633

Top of the Top 2021-2021年スポーツライミング日本代表の頂上決戦- 大会報告	2
第1回ユースフューチャーカップ銚田 開催報告	3
フューチャーカップ親子オンライン研修について	5
東京2020大会 J M S C A 表彰式	6
第152回 Mountain World	7
新連載 2021黒部の記録 その3	8
山野井泰史さんにピオレドル生涯功労賞	9
元三重県山岳連盟会長 田中均様 旭日双光章受賞	9
令和3年度 安全登山指導者研修会（西部地区）報告	10
自然保護委員会のSDGsな活動①	12
JMSCA、表紙のことば、編集後記	13

Top of the Top 2021—2021年スポーツクライミング日本代表の頂上決戦— 大会報告

強化委員長 安井 博志

2021年11月22-23日に葛飾区東金町運動場スポーツクライミングセンターにて「Top of the Top2021」を開催しました。2021年シーズンは東京オリンピック後のスポーツクライミング国際競技大会は新型コロナウイルス感染症によって中止となり、シーズンが突然終了となってしまいました。この状況においてアスリート委員会と強化委員会は2020年に開催した「Top of the Top」を再度開催し、選手達が活躍できる場を創出したいと考え大会の開催を決めました。

コロナ禍の中でまだまだ多くのスポーツの先行きが不透明な中で選手たちは懸命に活動しています。そして、海外派遣も2021年4月から再開しましたが、派遣選手数を絞って派遣しておりスポーツクライミング日本代表に初めて選出された選手たちも日本代表ユニフォームを一度も着ることなくシーズンを終えなければならない状況でした。

そのような中で私たちは昨年と同様に3つのやりたいことを念頭に大会開催をしました。

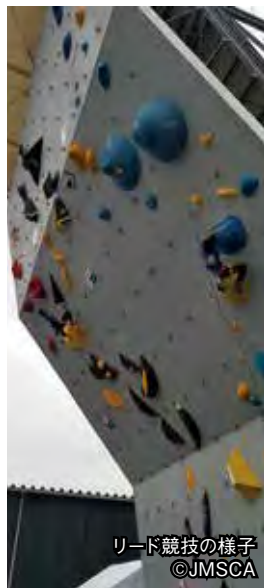
はじめに、「選手たちが真剣勝負できる強化の場にしたい」ということ。私は大会とは、a) 勝利を目指して競い合い真剣に楽しむ場である、b) 自己発揮の場である、c) より良い自分を目指す人格を磨く場である、と考えています。そのため真剣勝負できる「場」の創出をまず第一に考えています。

次に、「スポーツクライミング日本代表選手たちに日の丸をつけて登ってもらいたい」ということ。選手たちが憧れる日

の丸がついた日本代表ユニフォームを着て登る姿を見たいと考えました。選手たちは日頃から多くの方々に支えられて日本代表になれたはずです。勝ち取った日本代表の姿をその方々に見せられる場は選手にも支える人たちにも特別な場ではないかと考えています。

最後に、「世界中の愛好者やファン、そして日本代表を夢見る子供たちに日本代表選手の素晴らしいパフォーマンスを見てもらい夢や感動を届けたい」と考えています。今大会は久しぶりに有観客で大会を実施しました。日本代表選手たちの登りは世界最高峰のパフォーマンスであり、彼らの登っている姿を全世界に配信することはクライミング界にとっても大きな意味を持つと考えています。大会中には選手達も見ている人達を楽しませてくれるようなパフォーマンスもあり、素晴らしいパフォーマンスと共に観客の方々も楽しめる素晴らしい大会となりました。

大会には東京オリンピック選手は参加できませんで



【大会結果】

順位	女子ボルダリング	男子ボルダリング	女子リード	男子リード
1位	森 秋彩 (茨城県山岳連盟)	井上 祐二	谷井 菜月 (榎原学院高等学校)	村下 善乙 (千葉県立柏南高等学校)
2位	松藤 藍夢 (神奈川県立新羽高等学校)	杉本 怜 (オリエンタルバイオ)	森 秋彩 (茨城県山岳連盟)	藤井 快 (TEAM au)
3位	倉 菜々子 (愛知県山岳連盟)	渡部 桂太 (住友電装)	平野 夏海 (日本体育大学)	緒方 良行 (ホリプロ)
4位	中村 真緒 (青山学院大学)	川又 玲瑛 (栃木県山岳・スポーツクライミング連盟)	中村 真緒 (青山学院大学)	吉田 智音 (奈良県立青翔高等学校)
5位	平野 夏海 (日本体育大学)	緒方 良行 (ホリプロ)	【同4位】 松藤 藍夢 (神奈川県立新羽高等学校)	百合草碧皇 (早稲田大学)
6位	小池 はな (川口市立高等学校)	高田 知亮 (鳥取県山岳・スポーツクライミング協会)	【同4位】 中川 瑠 (金蘭会高等学校)	橘崎 明智 (TEAM au)



写真左より、女子ボルダリング、男子ボルダリング、女子リード、男子リードの各表彰式にて ©JMCSA/アフロ

したが、ベテラン選手から若手選手までさまざまな日本代表選手達の素晴らしいパフォーマンスが見られました。唯一残念なことはリード女子決勝の競技中に雨が降り出し、壁やホールドが濡れてしまったために決勝ラウンドがノーゲームになってしまったことでした。

大会の様様と選手たちの素晴らしいパフォーマンスは「YouTubeチャンネル：JMCSA Competition TV」にてぜひご覧ください。

本大会は葛飾区の皆様、運営スタッフ、ジャッジ、セッターと多くの方々のご支援により短い準備期間の中で開催ができました。大会後の選手達の充実した表情がどのようなイベントになったかを象徴していると思います。まだまだウイルスが猛威を振っている未曾有のコロナ禍においてクライミングの価値を再考し、新型コロナウイルス感染症の終息を願いながら今後もやれることをやっていきたいと思っています。

第1回ユースフューチャーカップ銚田 開催報告

初となるユースフューチャーカップ(Y F C 2021)を11月27、28日、茨城県銚田市の銚田市生涯学習館スポーツクライミングセンターにて開催した。

本大会は単に実力を競うというだけではなく、子どもたちにこのスポーツ自体を楽しんでもらい、スポーツクライミングの普及につなげることを意図して企画した。大会要項には「大会経験を積むと共に、競技者としての倫理・健康面の認識・知識の向上を図る」ことを目的と明記し、参加者はリード・ボルダリングの2種目に出場、また事前のオンライン研修に親子で参加することを必須とした。

1. 競技

参加 (選手248人、同行者246人)

ユースC 男子68人 女子74人

ユースD 男子43人 女子63人

1日目にボルダリング、2日目にリードという日程で競技を実施。より多くの選手を受け入れるため、予選・



準決勝・決勝という複数ラウンド制ではなく2種目とも1ラウンドにより総合成績を確定する方式を採用した。またリード種目に関してはクライミングウォールの大きさ、ルート長を考慮し競技時間を4分に短縮する形とした。

ボルダリング・ユースC女子では伊藤選手が8課題すべてを1アテンプトで完登。2位の堀内選手以下も8課題全部を登りきったものの、アテンプト数の差で伊藤選手の優勝となった。同じくユースD男子でも上位3選手はすべての課題を登りきったものの、アテンプト数の差で仲田選手が優勝を勝ちとった。

翌日のリードではどの選手も前日の疲れを見せずユース世代らしい元気な登りが見られた。ユースC女子、ユースD男子においてはともに上位2人が高度による成績で同着となったことから、競技規則によりクライミング・タイムによる順位付けで順位が決まった。ユースD女子では前日のボルダリングで2位だった西選手がA、B両ルートで1位の高度を獲得、前日の雪辱

【ボルダリング成績】

ユースC男子	
1	濱田 琉誠
2	竹柴 勇吹
3	上田 悠太

ユースD男子	
1	仲田 和樹
2	河本恒太郎
3	奥畑 成

ユースC女子	
1	伊藤 悠
2	堀内 優里
3	麦島 心花

ユースD女子	
1	長崎 莉央
2	西 美柚奈
3	池田 心春

【リード成績】

ユースC男子	
1	戸田 稜大
2	上田 悠太
3	波多野英傳

ユースD男子	
1	奥畑 成
2	齋木 猛斗
3	河本恒太郎

ユースC女子	
1	小田 菜摘
2	松浦 朱希
3	山根 嘉穂

ユースD女子	
1	西 美柚奈
2	長崎 莉央
3	為則 星凜

を果たす形で優勝に輝いた。

2. 運営

今回も大会の中心メンバーをJMSCAから派遣、実働スタッフを主管団体である茨城県山岳連盟にご担当いただく形で開催した。JMSCA主催の公式大会を初めて開催することもあり、事前の認識合わせなど不十分な点もあったが、銚田市様、茨城県山岳連盟様の皆様の臨機応変な対応により、総じてスムーズな大会運営ができたと感じる。改めて感謝申し上げたい。

今後の競技会運営については、公式大会の開催経験がない地域・都道府県連盟（協会）においても円滑に準備・開催が進められるよう、内部ガイドラインや大会準備パッケージの整備を検討していきたい。

3. 感染症対策

3-1. 入場者管理

会場全域における密集を避けるため、最少人数のスタッフにて実施した。また従前に引き続き無観客での実施とし、選手同行者についても各選手1名、事前申請を必須とし厳しく制限を行った。

3-2. ウォームアップエリアにおける密対策

今回は大会会場に隣接する銚田市生涯学習館（旧・徳宿小学校）の教室を利用してウォームアップエリアを設営した。

合計で4部屋を利用し、それぞれの選手が利用できるウォームアップエリア（部屋）を指定することで、ウォームアップエリア内の滞在人数をコントロールし、密の回避につとめた。特にリード種目にあっては競技順ごとにウォームアップエリアを利用できる時間を区切ることでこれを実現した。

4. YouTube中継

	カテゴリ	ライブ同時視聴者数
11 / 27 (土) ボルダリング	ユースD女子	511
	ユースC女子	594
	ユースD男子	455
	ユースC男子	531
11 / 28 (日) リード	ユースD (男子/女子)	493
	ユースC (男子/女子)	514

5. 関係者コメント

大会の経緯、意義

実行委員長・村岡 正己

スポーツは、いろいろな人の心を引き付け一人ひとりの心身の健全な発達に役立ちます。

今までユースの大会はC、B、A、ジュニアを一緒に行っており、ルート、課題によっては体への負荷もあったと考えCを切り離しD世代と合わせて行うことにしました。

今回、親子のセミナーを開催し受講を参加の必須としました。今後も子どもたちの成長に適した活動の一環として大会を開催したいと思います。「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」、「失敗や

挫折に負けない心の強さ」「リスペクト・フェアプレー精神」の大切さを提供できればと考えています。

審判長・山崎 剛

第1回ユースフューチャーカップはタイトな競技スケジュールやコンテスト形式で行われたボルダリング、4分の競技時間で行われたリード、1ラウンド制で行われた2種目、と競技規則に大幅な変更内容があり、審判団としても普段慣れていない環境下での大会であった。さらに、テクニカル・デリゲイトが不在となる大会であったが、経験豊富な審判団はそれぞれ柔軟に対応ができ、無事二日間の大会を終えることができた。大会では審判団としての課題も明らかになったため、今後の改善に努めたいと思う。

チーフルートセッター（リード）・岡野 寛

ユースC、Dの大会はJMSCAにとってもルートセッターにとっても初めての試みでした。ルートセッターとして心がけたことは、成長期のユース選手の体への影響を考慮し、体の特定の部分に極端な負荷がかかる動きをなるべく避けることと、成績にとらわれずにチャレンジする登りをしてもらいたいということでした。コンペが始まってみると、思いきった登りをする子や、慎重にゆっくり登る子などそれぞれの特徴が見受けられました。参加した選手にとってもなにか気づいたことがあったり、未来へつながるきっかけになった大会だったと思います。

チーフルートセッター（ボルダリング）・徳永 一也

初めての大会という事もあり、競技内容から関わらせていただきました。

ユースDという新たなカテゴリーが加わり、前例もなく選手の力量がわからないままのセットとなり、さらに決勝がない一発勝負というセッターにとっては難しい競技内容ではありましたが、セッターチーム一丸となり課題内容のバランスや課題強度、選手の身長やリーチ等を最大限考慮しながらのセットとなり、不安な部分はありましたが最終的には選手を信じて課題作成をしました。

かなり若い世代の選手であり体も小さい子供たちも多かったが驚くほどクライミングレベル自体は高く、日本のクライミングレベル全体の底上げを感じました。

セット内容としてはまだまだ改善点は多いですが、この大会が発展していくことを願います。

銚田市教育委員会・関田 潜二

「スポーツクライミング第1回ユースフューチャーカップ銚田」が我々のまち、茨城県銚田市で開催できたこと、心からお礼申し上げます。

会場となりました「銚田市生涯学習館スポーツクラ

イミングセンター」は、いきいき茨城ゆめ国体2019スポーツライミング競技会の開催地として、県内の「スポーツライミングの拠点」となるよう、国体で使用したボルダリング施設をそのまま移設し、本年10月にオープンした施設です。

今大会は4種類の親子オンライン講習を行うなど、次世代を担うクライマーの健全育成に主眼をおいた初めてのユースC、D大会として開催されました。

大会当日は2日間ともに早朝からの受付などタイトな競技日程の中、選手や競技役員の皆様の協力のもと、無事にすべての日程を終了することができ、大変安堵しているところです。

会場地としましては、全国各地からお越しいただく選手・引率者の皆様、関係者の皆様へ農業産出額「野菜部門」全国第一位を誇る銚田市の魅力をお伝えできるよう準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、今回は皆様へのおもてなしは控えさせていただきました。

最後に、本大会の開催にあたりご協力いただきまし

た日本山岳・スポーツクライミング協会様、並びに茨城県山岳連盟をはじめとする関係各位の皆様、遠方からお越し頂いた選手・引率者の皆様に心から感謝を申し上げ大会のお礼とさせていただきます。

来年度の大会は、メロンのおいしい時期にお会いしましょう。

6. 成績の訂正について

本大会のボルダリング種目・ユースC女子の当日発表した公式成績に関して誤りがございました。

12月2日付にて訂正の発表をさせていただきました。選手の皆様にご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。詳細はJMSCAのWebサイトに掲載してありますので、ご確認ください。

(実行委員会/スポーツマネージャー・百瀬恭平)



フューチャーカップ親子オンライン研修について

ユース日本代表ヘッドコーチ/強化副委員長 西谷 善子

この大会は、未来ある選手たちが、大会経験を積むと共に、競技者として必要な知識を身につけながら健全に成長して欲しいという思いで作られました。また、選手だけでなく、ユース世代の選手にとって一番身近にいる存在が保護者であり、子どもたちの心身の成長をサポートするキーパーソンでもあります。

そこで、大会開催前の2021年11月18日(木)と22日(月)に、ユースC・D(2008～2011年生)の参加選手とその保護者を対象に、親子オンライン研修を行いました。講義内容は、①ユース世代に起こりやすい傷害、②成長期のトレーニング、③女性アスリートの諸問題、④アンチ・ドーピングについての4つで、いずれも『成長期』に特化した、保護者の方々にぜひ知っておいてもらいたい内容にしました。各講義全てに共通して「勝つことだけが全てではなく、クライミングの上達過程を楽しんでほしい」といったメッセージが込められており、参加した保護者の方々からは、「この年代の選手に、勝負にばかりこだわらず心身共に健やかに育ててほしい、と言う思いが伝わってきて非常にありがたく感じました。」「保護者対象のオンライン研修はもっとあって良いと思います。」といった前向きな感想を頂きました。

大会中も、選手たちが一生懸命登る傍ら、保護者の方

や指導者の方が、温かく見守っている姿が印象的でした。また2種目参加を必須としたことで、選手たちのそれぞれのパフォーマンスを見ることができ、将来を担う可能性を秘めた選手たちを協会が一丸となって大切に育てていかないといけないなど、この大会が担う役割の重要性を改めて感じ、身が引き締まる思いでした。

研修会後の参加者アンケートでは、今後の研修で深く知りたい内容や改善点についても様々なご意見を頂いたので、参加者のニーズを汲み取りながら、次回に活かしていきたいと思えます。

コロナ禍で大会開催が難しい中、様々な知恵を出して感染予防に努めながら開催して頂いた関係者の方々、参加頂いた選手・保護者・関係者の方々に感謝申し上げます。



東京2020大会 JMSCA表彰式

スポーツライミング
安井 博志

2021年11月5日にアルカディア市ヶ谷にて「東京2020大会 JMSCA表彰式」が行われました。2021年8月に開催された東京2020オリンピックのスポーツライミング競技で活躍した選手4名及びスタッフ10名がJMSCAより表彰されました。丸会長、亀山副会長、小日向副会長をはじめ9名の役員の方々にもご出席いただきました。この式で表彰された者にとっては改めて大会の開催や選手強化に至るまでには数え切れない程多くの方々のご尽力に対して感謝する一時になりました。

野中生萌選手は「開催に至るまでに多くの方々のご尽力に改めて感謝しています」と、東京大会で競技生活を引退した野口啓代選手は「長年にわたるJMSCAのサポートに感謝します」という謝辞を述べました。式終了後は懇談会もあり、役員と選手・スタッフで東京大会中の詳細な話などをして大会の余韻を感じられる会でした。選手の晴れやかな表情が印象的な式でし



た。繰り返しになりますが、東京オリンピックの開催にご尽力いただいた皆様、JMSCAの皆様をはじめとした多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

東京2020大会-JMSCA表彰一覧

No	役職	名前	表彰
1	選手	野中 生萌	目録(200万円)
2	選手	野口 啓代	目録(100万円)
3	選手	檜崎 智亜	技能賞
4	選手	原田 海	敢闘賞
5	スタッフ	安井 博志	功労賞
6	スタッフ	星 多賀子	功労賞
7	スタッフ	Hartmann Benjamin	功労賞
8	スタッフ	水村 信二	功労賞
9	スタッフ	小林 由佳	功労賞
10	スタッフ	山本 貴英	功労賞
11	スタッフ	神館 盛充	功労賞
12	スタッフ	谷川 哲也	功労賞
13	スタッフ	西谷 善子	功労賞
14	スタッフ	富澤隆一郎	功労賞



第152回 Mountain World

マナスル 登頂の真贋が問われる

池田常道

マナスル(8163m)は、手ごろな8000峰として賑わっている。比較的登りやすい高峰として人気が高かったチベットのチョー・オユー(8188m)やシシャパンマ(8027m)の入山が制限されてきたここ数年は、この2座の分まで公募隊が集中、毎年数百人が登頂するようになった。2017年に326人、18年には271人、19年には354人という具合で、コロナ禍で入山が減った2020年でさえ56名が登頂、初登頂以来の延べ登頂者は2200人を超えている。

その一方で、これらの隊は本当に最高点まで達したのか？ 手前のピーク(コブ)から引き返したのではないのか？ という疑問もここ10年来ささやかれてきた。エバーハルト・ユルガルスキー(独)の8000m.comでは2017年以降、複数の証拠写真を示して誤りを指摘してきた。しかし、これを問題視する向きは少数にとどまり、前衛峰の一角を踏んだだけで成功を誇示する隊が後を絶たなかった。

手前のピークに立っただけで登頂と報告した例は、じつは以前からあった。ブロード・ピーク(8051m)の前衛峰やシシャパンマ(8027m)の中央峰などだが、その多くは登山者自身の勘違いによるもので、いまではおおむね修正されて現在に至っている。

ところがマナスルは、頂上手前に複数ある前衛峰に立ちさえすれば、ネパール政府のお墨付き(登頂証明書)がもらえるため、これを「認定ピーク」として登頂扱いする風潮が幅を利かせるようになった。ラッセル・ブライスはかつてマナスル公募隊を率いたおり、シェルパが手前のピークまでしか固定ロープを設置しなかったからだと弁解したが、配下のシェルパやクライアントを頂上まで行かせる努力を怠っていた。

1956年5月、日本山岳会隊が初登頂に成功したときの写真では、今西壽雄とギャルツェン・ノルブ、加藤喜一郎と日下田実は疑いなく最高点の狭い岩塊に立っている。前衛峰から最高点までの区間は、秋になると頂稜に大量の雪が張り付いて困難さが増すため、シェルパたちは安全な地点までしか固定ロープを張らなくなった。

*

今季のマナスルには17の公募隊が殺到し、9月23日夜10時のセブンサミット・トレックス(SST)ルート工作隊6名を皮切りに「登頂」ラッシュが始まった。しかし、これは従来繰り返されてきたのと同様に前衛峰に立っただけで、最高点には達していない。

ミンマ・ギャルジェ(ミンマG)のイマジン・ネパール隊はそれから3日後、真の頂上を目ざした。ナイフエッジとなった頂稜を避けて西面へ10m下ってから前衛峰の下をトラバース、最後に最高点へ向けて突き上げて見せた。登頂者はミンマ(G)以下シェルパ14人とクライアント8人の計22人。このほかニルマル・プルジャのエリート・エクスペディション隊もプルジャ以下シェルパ4人とカタルからのクライアント1人を登頂させた。

ミンマGは頂上から撮ったビデオを公開し、これまでの前衛峰からはうかがい知れないパノラマを明らかにした。また、エリート…隊のオーストラリア人ジャクソン・グローブズは時間切れで頂上には立てなかったものの、ドローンで頂上稜線の西側を空撮、前衛峰と真の頂上の位置関係を明らかにした。

なお、秋に最高点を踏んだのは1976年日本＝イラン合同隊の影山淳とJ・M・アサディ、パサン・シェルパが最初、それ以前はすべて春の記録だった。

この報告を得てヒマラヤン・データベースは、来年度から頂上か前衛峰かを厳密に区別すると決めた。公募隊以後の登頂者は、半分以下に激減するだろう。



ジャクソン・グローブズがドローンで撮影したマナスル頂上部西面の画像(部分)。最高点の手前に3つほど雪のコブが見え、左手には固定ロープ終点に列を成す登山者の群れ、中央下部には最高点に向けてトラバースして行くミンマGのグループが写っている。

Enjoy Climbing 2021黒部の記録 その3

山本 大貴

2/14 day7 ⇒ 1750 mTS

本日も少し早めの起床。昨夜の天気予報で明日の夜から強烈な寒波が来るのが判明した。そのため、今晚か明日にはどこか雪洞を掘らねばならない。可能であれば大滝尾根とのJPは超えていたい。

1610mのポコからは急登をクライムダウンし、1P半月沢側へ懸垂&登り返し。この登り返しを含めた2ピッチは北面のため雪が悪く時間がかかってしまった。

その後雪面、歩きから雪壁を越えて半月沢対岸の尾根とのJPとなる。このJPは鬱蒼としているため、懸垂を交えて巻くことにした。少し進んだところで、剣沢側にシュルンドを発見。大滝尾根とのJPは超えられなかったが、ここは頭上には大きな張り出しもあり、悪天もやりすごせると見込み、テント場の整地に精を出した。

稜線を忠実に辿る(標高約1600m)



2/15 day8 ~大滝尾根とのJP ⇒ 南仙人山西側コルTS (2173m)

連続行動8日目となり、疲労もかなり溜まってきた。と思っていたら、3人そろって寝坊する。全く時計のアラームに気づかなかった。

夜中にテントをたたき音が雨に変わったものの、出発する頃には止み始めた。悪天後の行動に備え、ガンドウ尾根を登り切り、仙人新道近くまで進むことにする。大滝尾根とのジャンクション手前の登りはノーロープで進む。積雪後であればかなり雪崩そうな斜面であった。南仙人山手前で視界が完全になくなり、ロープをつなぐ。南仙人山から下降したコルで北面に傾斜の強い雪面を発見、これから数日の悪天を過ごすため、大型の雪洞を掘ることにした。

2/16—18 day9—11

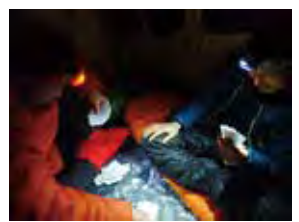
悪天のため沈殿

2—3日の荒れ模様の予報のため、快適な雪洞生活。ここまで、9日間の連続行動で溜まった疲れを癒す日々が始まった。雪洞内は入り口を閉じる事で



悪天に備えた雪洞内部

日の光がほとんど入り込めず、朝方の眩しさが殆どない。眠れるだけ横になり、快適とは言いがたい雪上でのテント生活



日課のトランプ(大富豪)

に、腰が軋み始めると寝袋から這い出るような日々が続いた。

毎日の日課といえば、ご飯、水作り、雪かき、大富豪、主にこの4つのルーティンであった。時には夜更かしをして、トランプで遊ぶ夜もあった。通り過ぎた地形図を四角に切り、手作業で数字と記号を書き続ける隣のおじさんは、なんだか異様な姿。初めは、将棋を1局もったのだが、3人で遊べない事により、即座に却下。ルールの複雑な大富豪を日々の日課に取り組んだ。

日々ラジオから流れるコロナのニュースに一喜一憂し、家族の無事を祈りつつ、夜を迎えること3日、ついに好天周期を迎える。

2/19 day12 ~仙人新道~二股~ハツ峰4稜1760m

富山平野では交通障害が発生するほどの積雪量、どれほどのラッセルか、と心配するも風で飛ばされているのか、傾斜がないためか、腰以下のラッセルで進む事が出来た。風は多少強いものの、快晴、360°の視界とともに、二俣へ下降する。最後の登山である。

*

今回の黒部横断は、3つのパートに分ける事ができる。

1. 入山から黒部川まで、2. 黒部川から二俣まで、3. 二俣からハツ峰、剣岳、下山と、どれも登って降りて、で1つのパート。

気持ち的には、3つ目のスタート地点、二俣が近づくとつれ、ゴールが近づいている事を意味し、緊張が緩んできていたのだと思う。

降雪後の稜線で、1850m付近、登り返しが手間そうだったので5mほど、トップで稜線から道をそれて歩いていると、足下が滑り出した。

一瞬、何が起こったのか、理解する間もなく、硬い雪面に着地。ようやく自分の身に何が起こったのか判明した。足元から雪面が破断し、雪崩に巻き込まれていた。稜線近かったこともあり、幸い破断面の近くにいたため巻き込まれずに事なきを得た。

当初計画では滝ノ稜であったが、上部に大きな雪面を有するこの支稜は降雪直後はリスクが大きいため、IV稜に変更した。この日は、取付から3ピッチ伸ばした稜線上を宿とすることにした。

快晴の中、ハツ峰の取り付きを目指す



山野井泰史さんにピオレドール生涯功労賞

池田常道

登攀賞 ピオレドール(黄金のピッケル)登攀賞は1992年に、「アルピニズムの伝統を踏まえた、斬新で高水準の登攀を毎年表彰する」という趣旨で、フランスで創設された。当時の主催はいずれもフランスのグループ・ド・オートモンターニュ(高嶺会)とモンターニュ・マガジヌ。1991年にカンチェンジュンガ南峰南西稜を登ったスロヴェニアのアンドレイ・シュトレムフェリとマルコ・プレゼリが受賞して以来今回で節目の20回を迎えた。

昨年度はコロナ禍によってクライマーの行動範囲が大幅に制約されたため、アルプスやロッキーといった近場の山と、かろうじて機会をつかんだ遠隔地からそれぞれ1隊を選ぶに留まった。

- 西部カラコルム、バトウラ山群サニ・パククシュ(6952m)南壁ルヴェール・ガニャン初登攀(約2500m、M4+ WI4+ 90度)10月16日～19日。ピエリック・フィーンヌ、シモン・ヴェルフランジェ(フランス)
- カナディアン・ロッキー、マウント・ロブソン(3954m)北壁エンペラー・フェース、ランニング・イン・ザ・シャドウズ初登攀(2300m、VI M6 AI5 A0)9月30日～10月1日

なお、日本人としては、第17回(2008年)のカランカ北壁(一村文隆、佐藤裕介、天野和明)とカメット南東壁(平出和也、谷口けい)を初めとして複数のチームが登攀賞を受賞してきたことをご存知のとおり。

特別賞 また、長年にわたってビッグウォールのソロを続けてきた女性シルビア・ビダル(カタルニア)には特別賞(Special Mention)が贈られた。彼女のおもな単独登攀は以下のとおり。

- カラコルム、シプトン・スパイアー、ライフ・イズ・ライラック(870m、8a A4+)2007年
- インド、ラルダン、ノーフラギ(1050m、6a+ A4+)2010年
- チリ、セラニア・アバランチャ、エスピアディモニス

(1500m、6b A4)2012年

- アラスカ、ザナドゥ、アン・パー・メ(530m、6a A4+)2017年
- チリ、エル・チレノ・グランデ、シンクロニア・マジカ(1180m、6a A3+)2020年



生涯功労賞 アルピニズムの精神を受け継ぐレジェンドに対する表彰として2009年に新たに創設され、その第1回はヴァルテル・ボナッティに贈られた。13人目となる今回は、ピュアなスタイルで僻地の山と岩壁を登り続けてきた山野井泰史さんが、日本人で初めて受賞した。アジアからも、もちろん初めてのことである。

コロラドのスフィンクス・クラックを登って念願の5.13を達成した彼は、その足でかねてからの夢——世界のビッグウォールを目ざす旅に出た。まずヨセミテでエル・キャピタンのラーキング・フィアを単独第3登。ヨーロッパへ渡ってドリユ西壁のフレンチ・ディレッティシマを単独初登。1年5ヶ月にわたる旅を終えた。20代を迎えたばかりの青年はバフィン島のトール西壁、パタゴニアのフィッツロイ冬季単独登頂、ヒマラヤでもアマ・ダブラム西壁、とソロの記録を積みかさねた。ガツシャブルムIV峰東壁やマカルー西壁などの大物にも果敢に挑んだ。そして1994年、チョー・オユー南西壁に単独で新ルートを拓く。98年にはクスム・カングル東稜を単独初登した。K2南南東稜をソロしたのは2000年のことだった。その2年後にはギャチュン・カン北壁に挑んで登頂後嵐に襲われ、妙子夫人ともども決死の脱出行で生還した。

ボナッティ以降の歴代受賞者はラインホルト・メスナー(2010)、ダグ・スコット(2011)、ロベール・パラゴ(2012)、クルト・ディームベルガー(2013)、ジョン・ロスケリー(2014)、クリス・ボニントン(2015)、ヴォイチェフ・クルティカ(2016)、ジェフ・ロウ(2017)、アンドレイ・シュトレムフェリ(2018)、クシストフ・ヴィエリツキ(2019)、カトリーヌ・デスティヴェル(2020)といずれ劣らぬ錚々たる顔ぶれである。

元三重県山岳連盟会長 田中均様 旭日双光章受賞

2021年秋の叙勲で元三重県山岳連盟会長田中均様のみごと旭日双光章を受賞いたしました。

会長を2008年までの12年間務め、県内初開催となった1999年の全日本登山大会を成功させた。受賞に当たり「連盟の多くの事業が盛大に行えたのは加盟団体のおかげと、それが今回の受賞につながった」と感謝する。

所属の鈴鹿山岳会の祝賀会にて、会員及び三重県山岳SC連盟役員と共に



令和3年度 安全登山指導者研修会（西部地区）報告

西部地区の安全登山指導者研修会は、令和3年11月20日（土）～22日（月）佐賀県武雄市にある黒髪山及び黒髪少年自然の家で開催されました。

東部地区がリモートに変更になる中、西部地区では予定通りの開催です。新型コロナの非常事態宣言がすべて解除され、感染者が急激に減少し、状況が変化したため、講義、実技そして情報交換会がコロナ以前と同様に実施出来ました。

ただ違った点は、引継ぎがリモートで行われたこと、研修内容が読図に特化したことでした。最初ファーストエイドの講義・実習も考えていましたが、計画段階の8月にコロナ感染者数の急激な増加第5波が発生した関係で、講師の医師先生が病院の規則強化のために研修会参加を辞退されました。そのため読図のみの内容になりました。

黒髪山は武雄市と有田町の境にある標高516mです。山容は浸食が進んでおり切り立った岩礁群となっています。そのため、最強の低山と言われるような変化に富んだ地形に山道が作られています。またクロカミシライトソウをはじめクロカミラン、カネコシダなどの希少植物が多いことでも知られています。

【第1日目】開講式、講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

開講式では、国立登山研究所藤原所長、日本山岳・SC協会丸会長、佐賀県山岳・SC連盟宮原会長の挨拶がありました。



講義Ⅰ「登山のPDCA」北村憲彦氏

PDCAは1950年代アメリカの品質管理の研究者によって提唱された品質管理方法で、国際基準になっています。これを登山に応用した内容です。

登山ナビゲーションのPDCAサイクル活用例とし



て、先読みPlan②ルート維持Do③現在地確認Check④修正Actがあります。

講義Ⅱ「読図とナビゲーション（初級編）」河合芳尚氏

国立登山研修所のホームページ「読図とナビゲーション（YouTube）」などを使って、尾根と沢を把握する練習をしました。

「読図とナビゲーション（中級編）」

ナビゲーションサイクルの説明と「特徴物」の概念の確認をしました。

講義Ⅲ「道迷いのパターン」河合芳尚氏

具体的な遭難事例を10通りの場合に分けて、地図を見ながらの解説でした。大変面白い内容で、受講生の評判がいい講義でした。

①出発時間が遅い②事前のチェック不足③交通機関の最終時間に焦る④地図の登山道が廃道⑤登山計画の急な変更⑥赤テープに誘導される⑦チームがバラバラになる⑧小さな要因の積み重ね⑨迷い道の方がしっかりしている⑩スマホが使えない（読図技術が無い）。

最後に翌日の実技の説明がありました。まずコンパスの使い方の実技について（「コンパス1・2・3」国立登山研修所のホームページ参照）、次に読図するときの進め方でした。

各班で先頭は研修生→先読みの発表→Go→先読みした特徴物で止まる→現在地確認→先頭交代…。



講義Ⅳ「登山におけるリスクマネジメント」北村憲彦氏

遭難事故の要因（リスク・リスク源）である厳しい自然環境（高度→低酸素・風、濡れ→低温・季節・地域差など）という外的条件、独特な運動・生活（長時間・不整地・荷物の負荷・水分・栄養・睡眠や休息）という内的条件に、時間的変化（漸次的、急進的）を加え、ヒヤリハットなどの体験を共有し、ハザードとリスクを洗いだして、計画立案を立てる必要があります。登山におけるリスクマネジメント（RM広義）RMの4フェイズ①リスクの理解と合意②ガイドライン③コントロール（回避／軽減／受容／保有→対応の選択／決／復帰 レジリエンス）④ダメージコントロール（全

力でダメージの拡大を防ぐ努力) セルフレスキュー。

【第2日目】実技講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ



21日(日) 8:30 実技講習の前に撮影しました。

実技研修Ⅰ「コンパス1・2・3」河合芳尚氏

コンパス練習シートを使って使い方の基本を練習しました。初めての方はこの練習方法だと元の位置にコンパスを使って戻ってくる感動を味わえたようです。



実技研修Ⅱ「ナビゲーションサークルについて①」

9:20までに黒髪山コースへ玄関前広場を4班に分かれて出発しました。班の先頭は、この日渡された地図に○1で示された地点の特徴を班員に説明し、進んでいきます。その地点に着いたら、地形などの特徴から○1の地点である理由を説明します。皆さんの同意が得られたらその先の○2へと行きます。早速、○2付近に着いて、地図のルート上の地点と違うと意見が分かれました。その時は、地元の実技講師である班長が



先に進んで特徴物を見つけ、振り返って考えるように促すなど進行にあまり遅滞を生じないようにしました。○48まで、

同様のことを繰り返しました。

10:30頃見返り峠○10、そこから沢を下って行きます。分かり難いポイントが続きました。二俣の分岐から南への登りです。稜線上にある後の平○20、尾根を歩いて蛇焼山は12時頃通過です。標識なしの標



高点の南東側にある天童岩へ空身で向かいましたが、多くの登山客がいて渋滞していました。下りは天童岩基部の鎖場です。昼食場所の西光密寺○26には12時半過ぎに着きました。



実技研修Ⅲ「ナビゲーションサークルについて②」

後半は西光密寺から有田ダムした駐車場登山口です。12:40頃から雨が降り出しました。エスケープのルートも考慮しましたが、小雨だったため予定通りとしました。地図がぬれないようにして読図も続けながら歩きました。本城岳(前黒髪)○33標高482.6mを13:50前後に通過し、有田ダムへの下降点○37から、地図をリックに入れ両手を使えるようにとお願いし、下って行きました。途中約50m位の岩を下降する場所があり、ロープを使って降りるためです。



予定より50分位遅れて、下山できました。

バスに乗りして、黒髪少年自然の家に戻り、希望者は、近くの黒髪の森温泉に行きました。予定通り18時から夕食・情報交換会に全員参加していただきました。この日の大変だった山行や読図のことなどで大いに盛り上がりました。

【第3日目】講義、グループワーク、閉講式

「ルートプランニングの指導について」北村憲彦氏

(1)机を二つ合わせて、班ごとに集合して、昨日の実習の振り返り(回答)をしました。

- わかりにくかったポイント

(p 2、p 13、p 11、p 15、p 32、p 37、p 43など)

- 注意すべき場面(後半の下りが続く、岩場など)

(2)グループワークの設定条件11月雪は降らない。

登山歴1年3人、2年2人、3年2人(L, S L) ルートプランA

1. 見落としとしてはいけないポイントはどこ?
2. 一人が一つのポイントを順番にポイントを挙げる
3. 同じポイントでもよい。同じ意見が多いほど重要リスクマネジメント、場面とシナリオを考える。

ルートプランB

ルートプランAとは別のプランも同じように作る



雨乞岳の地図を使って、各班でプランA、Bを作って、各班毎に発表がありました。皆さん非常に熱心に取り組んでおられました。

閉講式では、修了証の授与が行われました。

(佐賀県山岳・SC連盟 会長 宮原敏明)

自然保護委員会のSDGsな活動①

登山部
自然保護委員会

2015年9月に国連サミットで採択されたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、今後の社会の在り方に関する中長期的なイニシアティブとして17の目標と169のターゲットを掲げており、あらゆる場面でアクションプランが作成され実行に移されています。公益法人としてのJMSCAにもSDGsに関わる活動の推進が求められており、私たちJMSCA自然保護委員会(以下委員会)はその最前線に立ち、これまでも生態系を保全するための実効ある活動を行ってきました。そしてその活動を更に拡大していこうと、アイデアを出し合っています。

SDGsの17の目標は直接・間接的に効果が波及・循環していく特徴があり、自然保護活動と特に強く結びつくと考えられる目標15「陸の豊かさを守ろう」に関連付けて、例えば私たちがフィールドにしている山岳の構成要素であり、国土の7割をも占めまた多様な生物が生きる「森林」を護る活動について整理すると、次のようになると思われます。

『持続可能な管理のもとにある森林は、水を育み(目標6)、二酸化炭素を貯めて気候変動を緩和し(目標13)、山地災害の防止(目標11)にも貢献する』

つまり、山の緑を守り、素晴らしい日本の山岳美を未

来に残す活動は、温暖化対策としてのカーボンニュートラルの一助になり得ますし、自然生息地の劣化を抑制することで生物多様性と生態系の保全を果たし、災害のリスクを軽減してSDGsが求める「誰も取り残さない持続可能な社会を作ること」に繋がる、壮大な取り組みであるといえます。

来年3月に開催される全国の自然保護委員長を交えた会議では、これまでの各種活動をSDGsに結びつけて整理し、今後どう発展させていくか、そのための問題点は何かを洗い出し、解決に向けて議論を進める予定です。

*

本稿では、これまで委員会が取り組んできたSDGsな活動を紹介するとともに、今後はJMSCAを挙げて取り組んでいきたい活動も紹介していきたいと思います。
(自然保護委員長 小高令子)



2019.3.9 立ち枯れのアオモリトドマツ 蔵王山頂駅付近



2019.12.14 荒れた登山道 千葉県鋸山 周辺



雲取立ち枯れ



二ノ塔尾根森林再生

○日時：令和3年11月11日(木)
14:00～17:00

○場所 Web会議

○出席者 丸会長、亀山、小日向、高野各副会長、小野寺専務理事(途中出席)
古賀、村岡、相良、蛭田、濱田各常務理事、山口、町田、前田、山本、六角、青山、栗田、水島、野村、安井、小竹、笹生、原各理事、中島、古屋各監事

○欠席者 水村信二理事

○同席者 なし

1. 開会

2. 会長挨拶

概略以下の挨拶があった。

去る10月23日、24日、恒例のUIAAの年次総会が、ONLINEで開催された。この席で、議論になったのは、先ずUIAAの成すべき意義、存在意義について、「Mountain Women, Her history」というスローガンを掲げ、登山、山岳環境保護における、女性クライマーの活躍意義と功績について、有意義な報告を聞くことができました。

一方で、10月23日開催の安全登山指導者研修会(東部地区、ONLINE)では、69名の参加者があり、熱心な質問や疑問や指導者としての悩みが、参会者から直接寄せられました。

また、この2か月間、私は協賛会社10社と複数のメディア企業との首脳部に、表敬訪問を含めて、お会いしました。

登山においても、スポーツクライミング、マウンテンスキーにおいても、国際社会においてもJMSCAに期待されているリーダーシップは、無限大に広がってきています。理事の皆様には、さらに強い当事者意識をお覚悟いただき、今年度の事業計画達成に、お時間を割いていただきたく、理事会を始めるにあたって、開会のあいさつとさせていただきます。

3. 会議成立状況報告

理事数 24名中 23名出席

監事数 2名中 2名出席

(定款第33条、定足数=12名(1/2以上))

4. 議長選出

会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

ホストは亀山副会長が務める

6. 議題

議案第1号 議事録の承認について

2021年度第8回理事会議事録の承認について(事前送付済)

事前にメール送付し全員一致で承認された。
議案第2号

1) 上期事業報告及決算報告について

事業報告については亀山副会長が、決算報告は相良理事が資料に基づいて報告した。上半期経常増減額は9,657,031円の黒字となった。

2) 令和3年度上半期の監事監査報告なら

びに監査所見について

古屋監事より、令和3年度上期の業務執行理事・理事の活動ならびに決算報告には、法令、定款諸規定に違反する重大な問題は発見されなかった、との報告があった。議案第2号1)および2)は全一致で異議なく承認された。

3) 監事監査所見への回答について

令和2年度に係わる監事監査所見に対して書面にて回答をお願いしているが、いまだに回答がない。早急に回答を求める旨の指摘があり、回答担当者を以下の通り常務理事会で決めた。12月2日までに回答を取り纏め、丸会長に提出し、12月9日理事会にて正式回答を行う。

登山部 担当者 古賀登山部長

SC部 担当者 村岡SC部長

総務部 担当者 小野寺専務理事

総務部共済 担当者 蛭田共済委員長

4) 監事より、公益目的使用に限定される特定財産6000万円(財政基盤確保資金3千万円、国際大会開催資金3千万円)の会計処理規程を早急に作成し、それに基づいて適正な支出するよう指摘を受けた。担当は相良常務理事。

5) 消費税の税法が変わるので、対応すること。

議案第3号 SDGs推進委員会方針について

前田SDGs委員会主管理事よりSDGs委員会議事録に基づいて報告があった。今後の基本的推進方針について全員一致で承認された。

各委員会のSDGs対応活動方針を12月4日迄に取りまとめ、高野副会長宛報告すること。

議案第4号 BMI規程名称変更について

10月理事会で承認をうけた「選手BMI管理に関わる規程」はBMI管理という言葉が独り歩きし、かつデリケートな問題であり「選手低体重対策に関わる規程」に変更する。全員一致で承認された。

議案第5号 指導者表彰者について

蛭田指導委員会主管理事より提案があり、以下の2名が全員一致で承認された。

・滋賀県 大越 久嘉

・東京都 本郷 利夫

議案第6号 山岳スキー日本選手権について、ならびに補正予算について

笹生山岳スキー委員会委員長より、日本選手権ならびに補正予算について説明があった。資料整わず、承認は常務理事会に一任することを、全員一致で決定した。

7. 報告

報告第1号 山岳共済会上期報告について

令和3年上半期共済会について小野寺専務理事より事前配布に基づき説明された。

個人加入者は前期比2,416人減少、団体加入385人減少。

亀山副会長より補足説明があった。

現在、共済会過去5年の分析を青山理事に依頼している。分析結果に基づき、今後の対応を検討したい。

報告第2号 山岳レスキュー講習会要綱について

町田理事より説明があった。要綱についてはHPに掲載する。

報告第3号 夏山リーダー認定について

蛭田常務理事より説明があった。以下の方々が認定された。

①田村 潤②澤村 一角③中根 瑞穂

④山崎 忍⑤西岡 庸子⑥三宅 隆

⑦遠藤 真⑧柳田 真智子⑨岡田 勇一

⑩会田 小百合⑪戸島 光彦⑫武川 智明

報告第4号 審判・セッター昇格認定について 資料3-27頁

常務理事会にて末審議であり、理事会で改めて回り、全員一致で承認を受けた。

A級審判昇格 杉山 将崇

B級審判昇格 石井 昭彦

B級ルートセッター昇格 尾崎 浩詔

報告第5号 SC部マーケティング委員会について

常務理事会にて承認された旨報告された。

報告第6号 今年度大会予定

資料3(追加) 上頁26頁

SC競技大会の予定について村岡常務理事より事前配布資料に基づき説明を受けた。
報告第7号 令和4年度予算委員会開催について

常務理事会での決定結果を亀山副会長より報告があった。

2021年予算委員会メンバー(以下のメンバー)による予備会議を11月26日(金)19:00で開催する。資料は相良常務理事作成する小野寺(主管)、相良、会長、亀山(副会長)、古賀、前田、村岡、山口、六角、中島、古屋 以上11名(2021年度JMSCA役員名簿に拠る)

2月10日理事会に事業計画、予算案を提出、3月10日理事会にて最終承認、6月総会に上程する。

報告第8号 国交省後援承認について

例年通りの後援依頼であり、特に問題はない。

報告第9号 日本山岳グランプリ受賞対象者について

小野寺専務理事より、選考委員会で山野井泰史氏を推薦予定だったが、今年度は辞退する旨の連絡を受けた、との説明があった。今年度は該当者はなし。

報告第10号 新春懇談会開催について

資料1-31頁～

令和4年1月15日(日)市ヶ谷アルカディアにて開催。功労者表彰は岳連に依頼、スポーツクライミング優秀選手表彰についてはSC部村岡部長が取り纏め、12月理事会に諮る予定。

報告第11号 役員派遣について(11月12日(金)～12月8日(水))

(1)安全登山研修会 11月20日(土)～22日(月)

於：佐賀県武雄市山内町周辺

丸会長、古賀常務理事

(2)Top of the Top 2021 11月22日(月)～23日(火)

於：葛飾東金町運動場スポーツクライミングセンター 丸会長他

(3)ユースフューチャーカップ 11月27日(土)～28日(日)

於：茨城県鉾田市生涯学習館スポーツクライミングセンター 丸会長他

(4)北信越地区代表者会議 金沢市

亀山副会長

報告事項第12号 指導委員会規程改定

蛭田常務理事より常務理事会にて承認された事項が報告された。 以上

「ガンバ!負けるなガバちゃん」

作者:未来



表紙のこぼれ

1997年8月20日午前1時30分、悲劇は起こった。

スキルブルム(7,360m)の登頂を目指した神奈川ヒマラヤ登山隊は、8月17日に7名が登頂に成功し、全員無事にBCに集結した。19日には登頂成功を祝い、20日にはBCを撤収して下山する筈だった。何とその深夜にBCが雪崩で襲われ、6名が死亡した。亡くられた広島三朗、原田達也、菊田佳子、永澤茂の各氏は何れも本会の海外常任委員であった。

同隊は、1977年K2隊の登頂20周年を記念して計画された。当初の目標は、チョゴリザであったが、許可が叶わず、転進を余儀なくされた。チョゴリザに行っていれば、のタラレバも言いたくなる。残念無念。
(写真撮影者 尾形好雄)

編集後記

JMSCAでは、2022年に「上級夏山リーダー」資格のUIAA公認を目指します。

上級夏山リーダー資格は引率型のリーダーを目指すため、4人パーティーがアクシデントを演技してリーダー判断の講習である。休憩中に写真を撮っていたメンバーが崖より8m滑落した。それを見たメンバーがリーダーに通報して、リーダーがどのような行動をとるかのストーリーを取り入れた講習である。全身観察から、ツェルトを利用した処置までを、リーダーは意思決定の過程をThinkaloud(つぶやき)で説明しながら行う方法も取り入れた。

(蛭田伸一)

登山月報 第633号

定価 110円(送料別)
 予約年間 1,300円(送料共)
 昭和45年12月12日
 第三種郵便物認可
 (毎月1回15日発行)

発行日 令和3年12月15日
 発行者 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
 Japan Sport Olympic Square 807
 公益社団法人
 日本山岳・スポーツクライミング協会

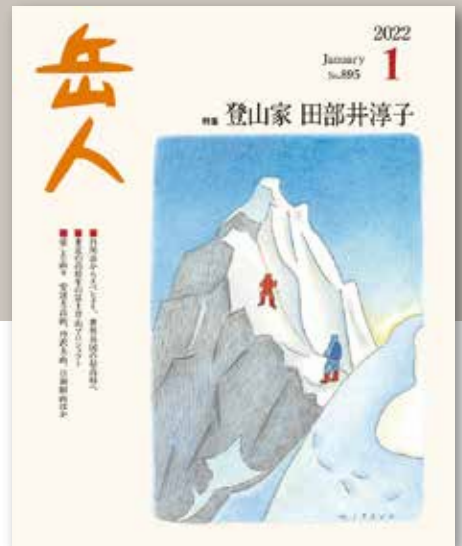
電話 03-5843-1631
 F A X 03-5843-1635

山岳
雑誌

岳人

がくじん

山と人、時代をつなぐ「岳人」



1月号
発売中

【特集】登山家 田部井淳子

★モンベルのウェブサイト
全国のモンベルストアや書店にて発売中!

毎月15日発売 価格968円(税込)

年間購読がおすすりです。

購読割引 送料無料 限定品プレゼント

年間購読なら、お得な価格で毎月お手元に冊子が届きます。

通常価格12冊 年間購読なら12冊 **1冊分おトク!**
~~10,560円(税込)~~ → **9,680円(税込)**
11,616円(税込) 10,648円(税込)

年間購読特典

わずか32g!※
岳人
コンパクト
マルチランブ



限定デザイン

さまざまなシーンで活躍する超軽量ヘッドランプ。
※単4形乾電池1本含む重量

全国1,900カ所以上で
ご優待!

岳人カード



全国の温泉や山小屋など提携施設でさまざまなご優待が受けられるカードです。

年間購読のお申し込みはこちらから! >>>
<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)とは

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。

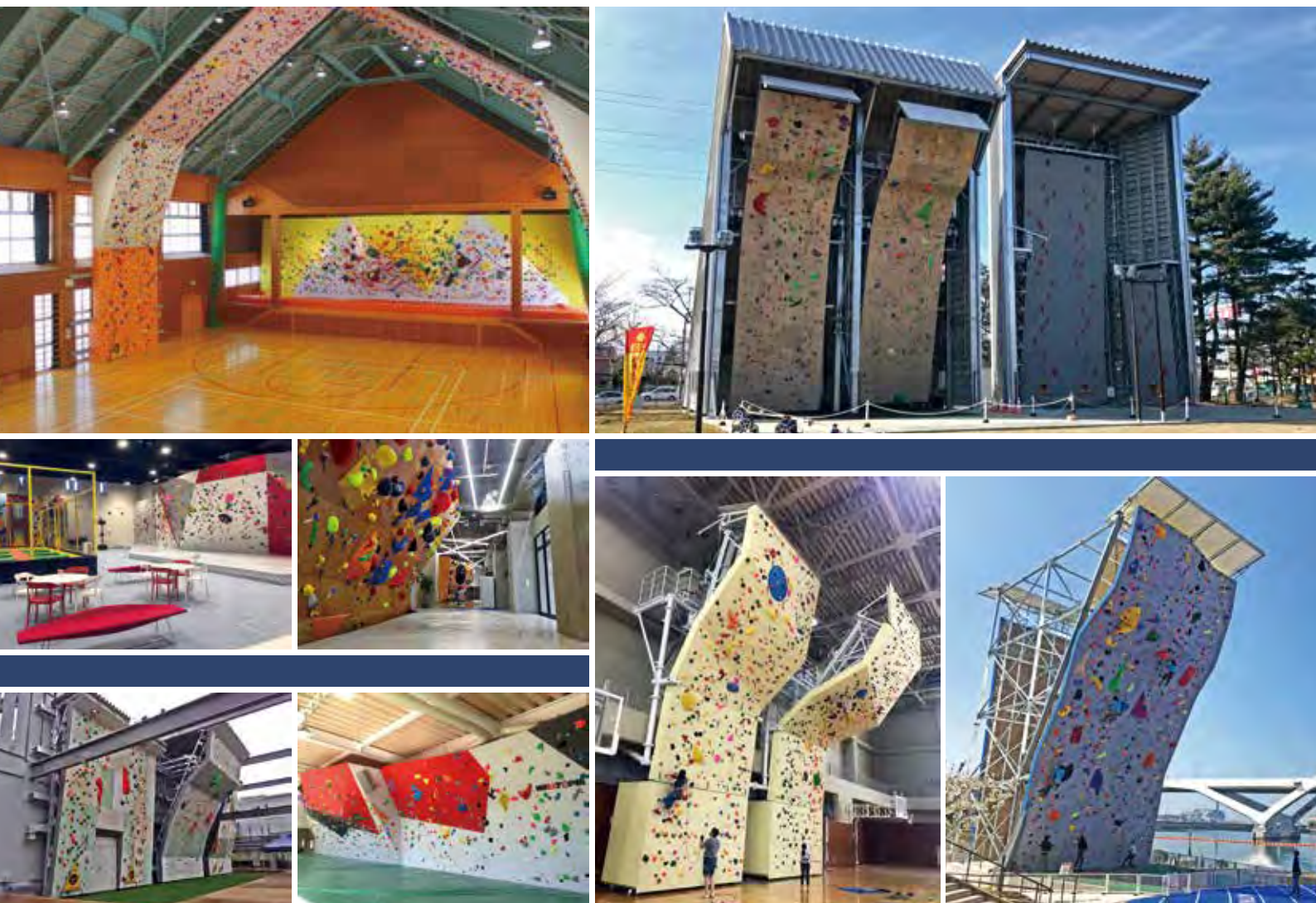
持続可能な地球環境		安心して暮らせる社会		活力のある経済活動	
関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組	関連する主なSDGs	主な取組
12, 13, 14, 15	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの普及支援 自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング 	1, 2, 3, 4, 5, 6	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの支援 先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応 	7, 8, 9, 10, 11	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティ社会への対応(自動運転車等) 災害に強いまちづくりの支援

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会*をめざします。

*外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会



登山者のマナー 山岳保険

あなたのは山岳保険ですか？

- 傷害死亡・後遺障害
- 遭難搜索費用
- 救援者費用
- 傷害入院
- 傷害通院
- 傷害手術
- 日常生活賠償

日山協 山岳共済会

〒170-0013東京都豊島区東池袋3-7-11-707

TEL 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397

E-mail sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

携帯からも資料請求ができます。
<https://sangakukyousai.jp>



「MAMoL マモル」
山を愛する人たちの共済会を～

WEBからお申込みいただけます